



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2024年11月6日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川福 純司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 所 聡

TEL 06-6413-3310

半期報告書提出予定日 2024年11月13日

配当支払開始予定日

2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	26,224	2.8	6,276	59.3	5,019	6.2	3,523	21.7
2024年3月期中間期	26,991	37.5	3,939	95.3	5,349	84.1	4,502	105.3

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	95.75	
2024年3月期中間期	122.34	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	96,246	40,191	41.8
2024年3月期	92,986	38,507	41.4

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 40,191百万円 2024年3月期 38,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		20.00		50.00	70.00
2025年3月期		25.00			
2025年3月期(予想)				20.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	3.3	10,400	25.5	9,400	0.4	6,100	37.0	165.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	36,800,000 株	2024年3月期	36,800,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,519 株	2024年3月期	1,518 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	36,798,482 株	2024年3月期中間期	36,798,505 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2024年11月27日(水)に証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、当日開催前に当社ホームページに掲載する予定です

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績、国内消費の回復や外国人入国者数の増加といった雇用や所得の環境が改善する等、回復基調が続いております。一方で人手不足の深刻化や資源・エネルギー価格の持続的な上昇、物価高によるインフレの問題、急激な為替相場及び株価の変動といった不安要素が顕在化しております。また、海外経済も緩やかな回復基調にありますが、世界的なインフレと各国の金融引き締め策や中国での不動産市場停滞等を背景とした景気の下振れ、中東情勢の不安定化による地政学的リスクの継続等があり、世界経済の景気回復鈍化や為替市場の変動影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境について、チタン事業におきましては航空機需要が回復から成長軌道となっていることや世界的なチタンのサプライチェーン再編の影響が継続しており、スポンジチタンの需要は堅調に推移してきました。しかしながら、足元では航空機製造の主要メーカーであるボーイング社において、品質問題に加えてストライキ影響が継続する等、サプライチェーンへの影響が今後懸念される状況となっております。また、高機能材料事業においても、2022年秋からの半導体市場における調整局面は継続しております。

こうした中、当中間会計期間の売上高は、26,224百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は6,276百万円（前年同期比59.3%増）、上期末の円高による営業外損益（為替評価損）があり経常利益は5,019百万円（前年同期比6.2%減）、中間純利益は3,523百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

事業別は以下のとおりとなります。

チタン事業

当中間会計期間におけるチタン事業の売上高は販売価格是正や円安効果はあるものの、取引先における在庫適正化が完了し実需見合いの調達に移行したこと等により、航空機用途向けが主体である輸出スポンジチタンの売上高は前年同期比2.7%増、一般産業用途向け主体の国内スポンジチタンについては、同24.2%減となりました。結果、チタン事業の売上高は23,968百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

損益につきましては、販売価格是正や操業改善といった収益改善や円安効果等により営業利益は6,093百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

高機能材料事業

当中間会計期間における高機能材料事業の売上高は半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンの販売量が取引先における在庫量の回復等により一時的に増加したことから、2,256百万円（前年同期比74.0%増）となりました。

損益につきましては、同製品の販売増影響により営業利益は183百万円（前年同期は159百万円の損失）となりました。

(参考)

事業別売上高

(単位：百万円)

		当中間会計期間	前中間会計期間	増減率 (%)
チタン事業	国内	6,789	8,962	△24.2
	輸出	17,178	16,732	2.7
	計	23,968	25,694	△6.7
高機能材料事業		2,256	1,297	74.0
合計		26,224	26,991	△2.8

事業別営業利益

(単位：百万円)

	当中間会計期間	前中間会計期間	増減率 (%)
チタン事業	6,093	4,098	48.7
高機能材料事業	183	△159	—
合計	6,276	3,939	59.3

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当中間会計期間末の総資産の残高は、96,246百万円と前事業年度末と比べ3,260百万円増加いたしました。これは、商品及び製品が増加したことや、現金及び預金が増加したことが主な要因であります。

②負債

当中間会計期間末の負債の残高は、56,055百万円と前事業年度末と比べ1,576百万円増加いたしました。これは、借入金が増加したことや、未払金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当中間会計期間末の純資産の残高は、40,191百万円と前事業年度末と比べ1,683百万円増加いたしました。これは、中間純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月13日公表の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年11月6日)公表いたしました「2025年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

①2025年3月期 通期(2024.4.1~2025.3.31)

(単位:百万円)

セグメント		前回報告 (A)	今回修正 (B)	増減額 (B-A)
売上高	チタン事業	52,500	49,000	△3,500
	高機能材料事業	4,500	4,500	—
	合計	57,000	53,500	△3,500
営業利益	チタン事業	10,800	10,000	△800
	高機能材料事業	200	400	200
	合計	11,000	10,400	△600

②修正理由

通期業績予想の売上高は、ボーイング社における品質問題、ストライキ及び調達停止影響等により、スポンジチタンの販売量が減少するため、前回公表値に対して減収となる見込みです。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、上記影響等により、前回公表値に対し減益となる見通しであります。

なお、2025年3月期第3四半期会計期間以降の為替水準につきましては1US\$=145円を前提としております。

2025年3月期の期末配当予想につきましては、2025年3月期通期業績予想が当初予想を下回ったため、1株当たり20円に修正させていただきます。この結果、年間配当金は1株当たり45円となる予定であります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,975	3,966
売掛金	21,829	22,059
商品及び製品	10,744	15,071
仕掛品	3,859	3,290
原材料及び貯蔵品	12,983	14,268
その他	238	202
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	55,629	58,855
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,404	8,447
機械及び装置(純額)	8,584	8,676
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	1,126	1,132
その他(純額)	556	595
有形固定資産合計	33,496	33,676
無形固定資産	969	824
投資その他の資産	2,891	2,890
固定資産合計	37,357	37,391
資産合計	92,986	96,246

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,317	5,470
短期借入金	5,800	7,200
未払金	1,708	146
未払法人税等	1,012	1,480
未払消費税等	715	332
設備関係未払金	1,161	944
賞与引当金	401	439
その他	429	325
流動負債合計	16,547	16,338
固定負債		
長期借入金	34,300	36,100
資産除去債務	1,540	1,553
退職給付引当金	2,020	1,992
その他	69	69
固定負債合計	37,930	39,716
負債合計	54,478	56,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	20,835	22,519
自己株式	△10	△10
株主資本合計	38,507	40,191
純資産合計	38,507	40,191
負債純資産合計	92,986	96,246

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	26,991	26,224
売上原価	20,607	16,902
売上総利益	6,383	9,321
販売費及び一般管理費	2,444	3,045
営業利益	3,939	6,276
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	39
為替差益	1,395	-
不用品売却益	73	246
受取賃貸料	23	23
その他	6	3
営業外収益合計	1,532	312
営業外費用		
為替差損	-	1,403
支払利息	91	135
休止固定資産減価償却費	0	0
割増退職金	24	28
その他	5	1
営業外費用合計	122	1,569
経常利益	5,349	5,019
特別損失		
固定資産除却損	26	166
特別損失合計	26	166
税引前中間純利益	5,322	4,853
法人税等	820	1,329
中間純利益	4,502	3,523

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の注記)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	25,694	1,297	26,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	25,694	1,297	26,991
セグメント利益又は損失(△)	4,098	△159	3,939

(注) セグメント利益又は損失の合計額と中間損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	23,968	2,256	26,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	23,968	2,256	26,224
セグメント利益	6,093	183	6,276

(注) セグメント利益の合計額と中間損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。